



透視歪測定装置 *PersTRiDY*

ガラスや樹脂の歪みを空間の透視歪として定量的に測定できます。

PersTRiDYの特長

- 透明なガラスやプラスチックなどの歪みを向こう側を透して観察した時の微小な透視歪として測定可能です。
- 測定対象面内各点の透視歪を、光軸の変位量として定量的にパターン表示いたします。
- 高感度な測定(1mradの角度の変化を検知)が可能です。
- マップ表示、CG表示、CSVファイル出力ができます。

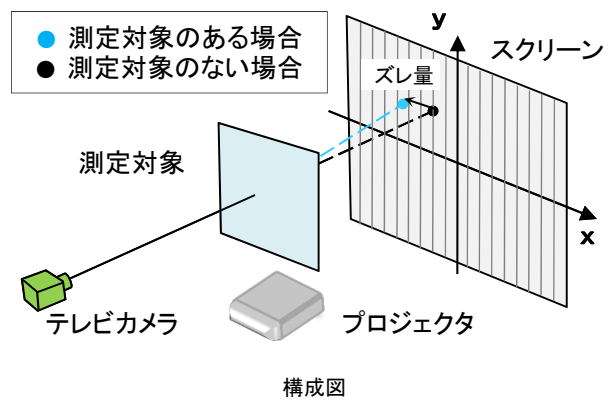
測定原理

● 透視歪とは

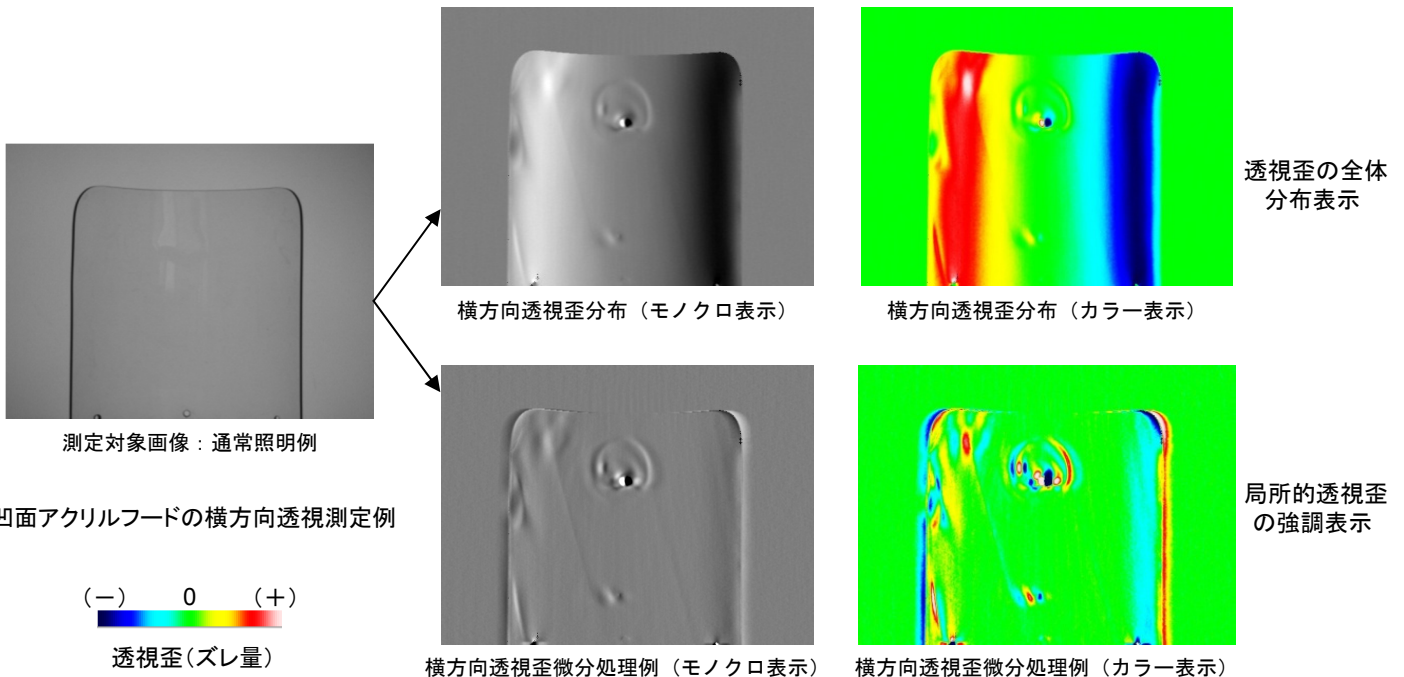
透明な物体(測定対象)を介してその向こう側を観察すると、屈折率のムラや表面形状の微小な変化により、観察した像がひずんで見えるのが透視歪です。

● 測定方法

プロジェクタからスクリーン上に投影した移動するマルチスリットパターンを、測定対象を介してTVカメラで観察いたします。さらに、これらの画像を独自の方式で解析し、各画素毎にスクリーン上での視点位置を求め、あらかじめ求めた測定対象が無い場合のスクリーン上の視点位置からのズレ量を算出することで透視歪を求めます。



測定例 (凹面フード)



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2017 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。